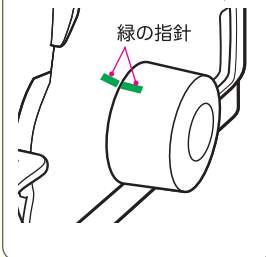


ラクスルー (自動針糸通し)の 使い方

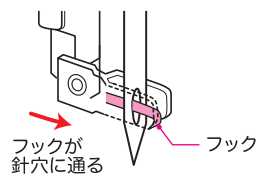
(1) はずみ車の緑の指針を合わせる

重要

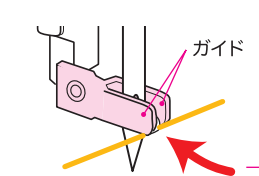


(2) 左右切換スイッチでL(左針)またはR(右針)を選ぶ

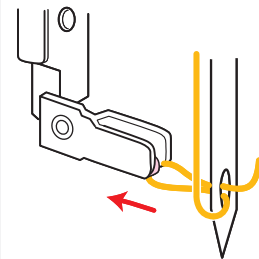
(3) 糸通しレバーを下げる



(4) 右指で糸を張り、ガイドに糸を下からひっかける

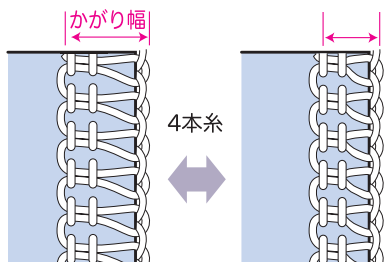


(5) 糸通しレバーをゆっくり戻すとフックが糸をひっかけて針穴に通します

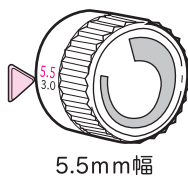


注 「緑の指針」を合わせていない状態では糸通しレバーを絶対に動かさないでください。

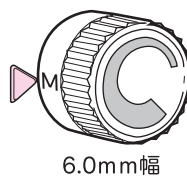
かがり幅の調節



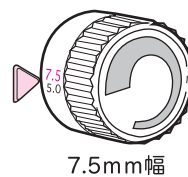
4本糸および左針を使用した時の3本糸
(上段の大きい数値で合わせます)



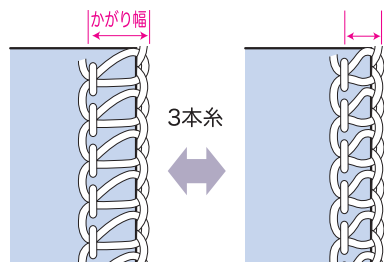
5.5mm幅



6.0mm幅



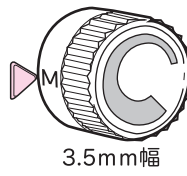
7.5mm幅



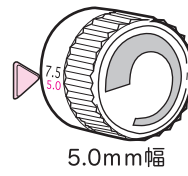
右針を使用した時の3本糸
(下段の小さい数値で合わせます)



3.0mm幅



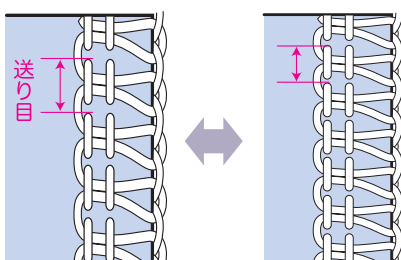
3.5mm幅



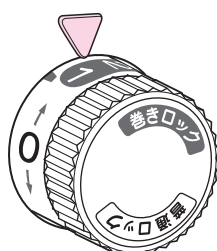
5.0mm幅

送り目の調節

「送り目ダイヤル」を回して、普通ロック・巻きロックともに0.75 ~ 4 mmの範囲で調節できます。



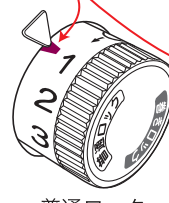
普通ロック側



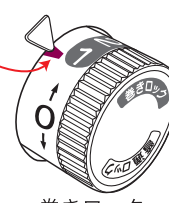
巻きロック側

ワンポイント

この位置は0.75mmを示します。



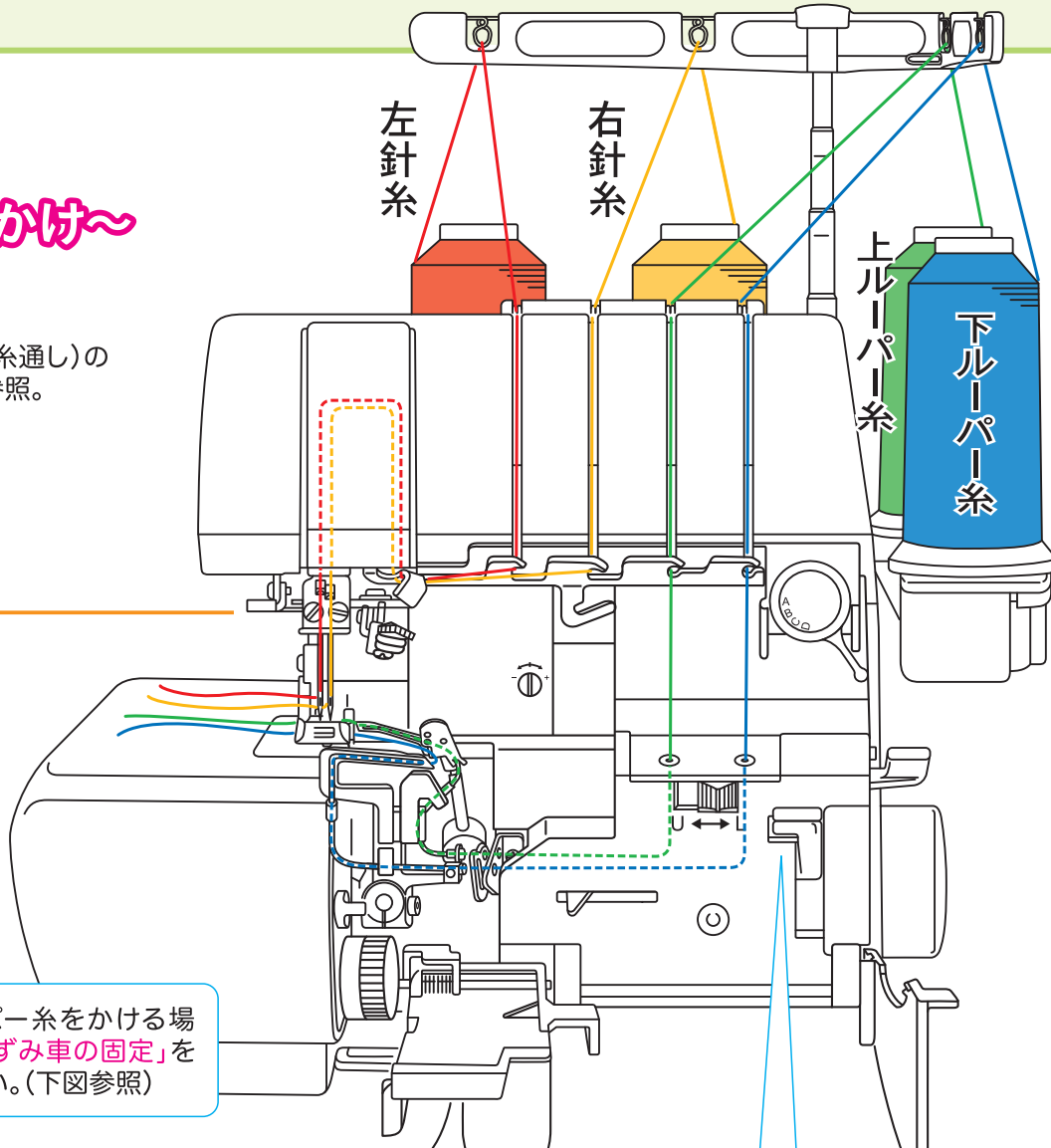
普通ロック



巻きロック

～糸かけ～

◆ラクスルー(自動針糸通し)の
使い方は左ページ参照。



◆上/下ルーパー糸をかける場
合は必ず「はずみ車の固定」を
行ってください。(下図参照)

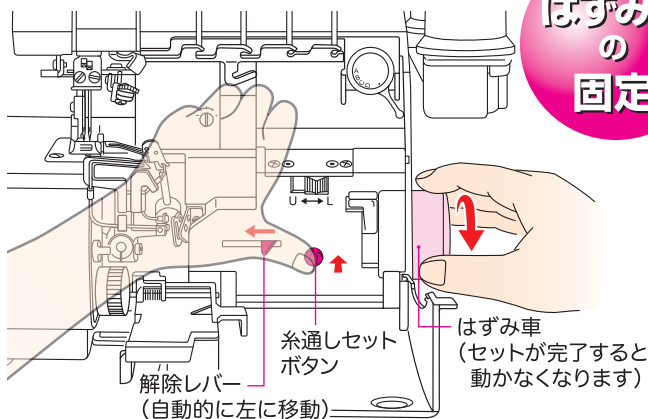
ルーパーの糸かけの前に

- 1 押え上げレバーで
押え金を上げる。
- 2 フロントカバーを
開ける。

- 3 糸通しセットボタンを押しながら「カチッ」と
音がするまではずみ車を回す。

重要

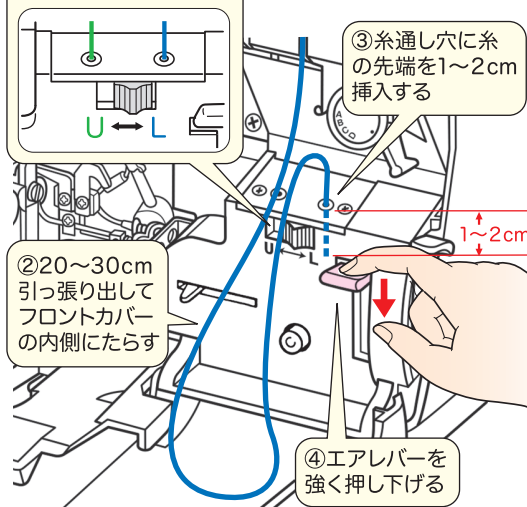
**はずみ車の
固定**



セットが完了すると、はずみ車が回らなくなり「解除レバー」が左へ自動的に移動します。移動しない場合は、もう一度「糸通しセットボタン」をもっと強く押しながらはずみ車を少しだけ前後に回してください。

エアスルー(自動エア糸通し)の使い方

- ① 切換スイッチを
[下ルーパー=L]または
[上ルーパー=U]にする

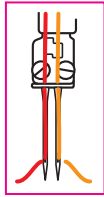


ルーパーの糸かけが終わったら「固定の解除」
(ご使用のてびきP10参照)をしてから縫い始める。

2本針4本糸ロック (A)



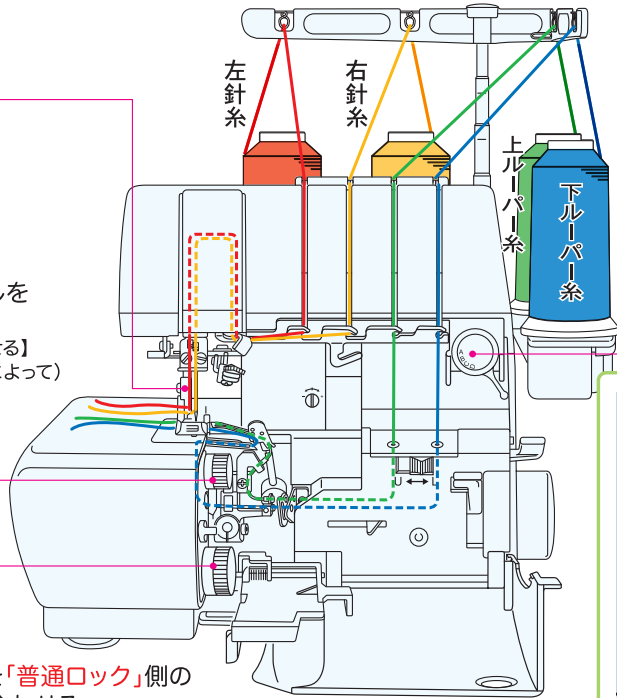
2 2本針にする。



3 かがり幅ダイヤルを合わせる。
【上段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)

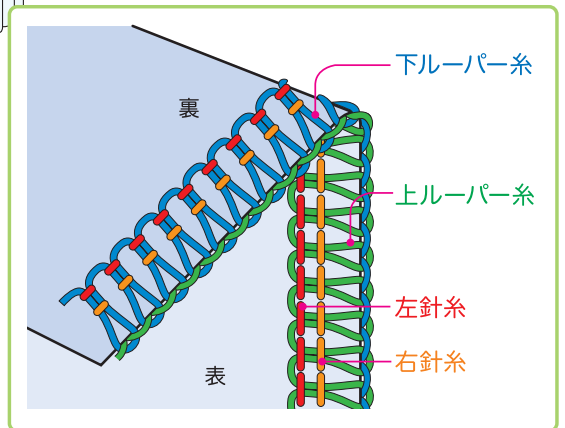
4 送り目ダイヤルを「普通ロック」側の数字0.75~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

※ ■ の印は0.75

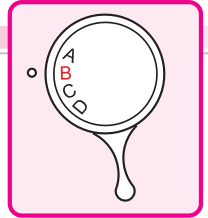


1 縫い目切換ダイヤルをAに合わせる。

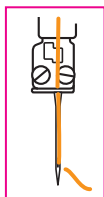
針	送り目(縫い目長さ)	かがり幅
2本	「普通ロック側」 2.5~4.0	5.5~7.5



1本針3本糸ロック (B)



2 右針または左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本はずす。



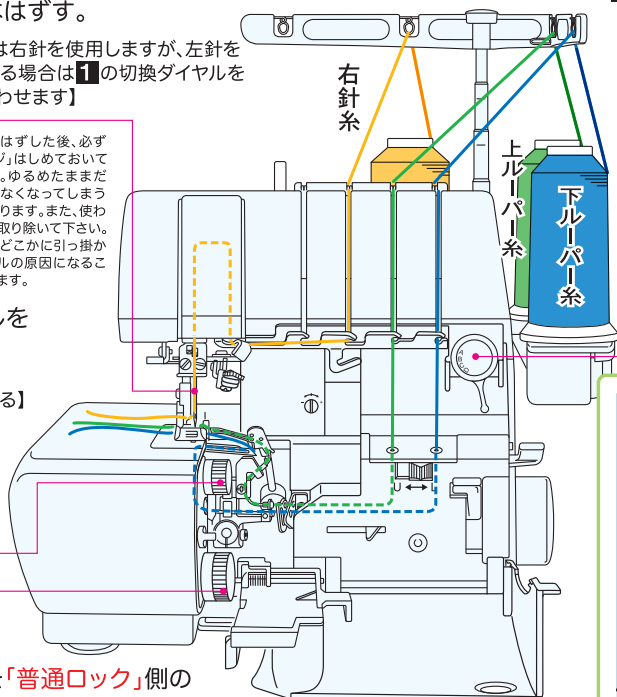
【通常は右針を使用しますが、左針を使用する場合は■の切換ダイヤルをAに合わせます】

針を取りはずした後、必ず「止めネジ」はめておいてください。ゆるめたままだと取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っかかりトラブルの原因になることがあります。

3 かがり幅ダイヤルを合わせる。
【右針使用の場合は下段の数字で合わせる】
【左針使用の場合は上段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)

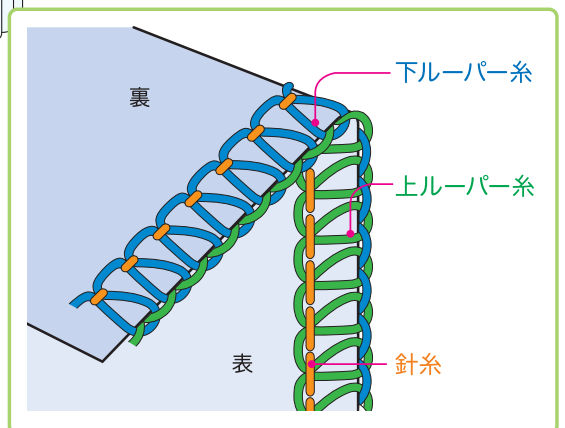
4 送り目ダイヤルを「普通ロック」側の数字0.75~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

※ ■ の印は0.75



1 縫い目切換ダイヤルをBに合わせる。

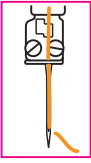
針	送り目(縫い目長さ)	かがり幅
右針 または 左針	「普通ロック側」 2.5~4.0	右針 3.0~5.0 左針 5.5~7.5



巻きロック【標準巻きロック(C)・変形巻きロック(D)】

標準巻きロック

2 左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本はずす。



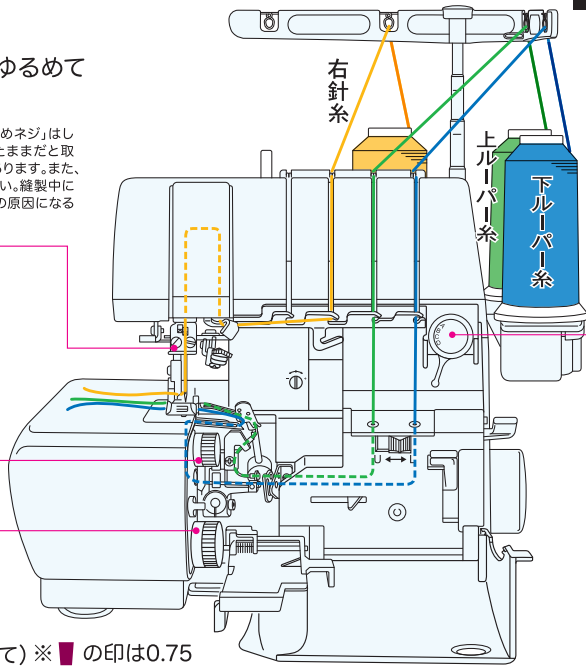
針を取りはずした後、必ず「止めネジ」はしめておいてください。ゆるめたままだと取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

3 かがり幅ダイヤルをMに合わせる。

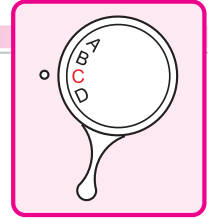
【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】

4 送り目ダイヤルを「巻きロック」側の数字0.75~4に合わせる。

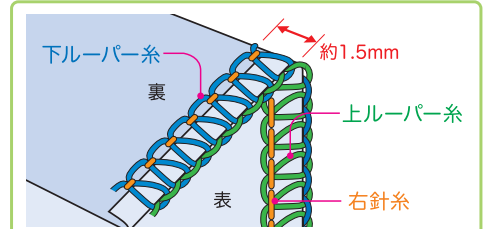
(生地の種類や好みによって) ※ **■** の印は0.75



1 縫い目切換ダイヤルをCに合わせる。



針	送り目(縫い目長さ)	かがり幅
右針	「巻きロック側」 0.75~1.5	M

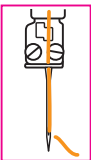


【標準巻きロック】

布端をひと折りしながら、細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。

変形巻きロック

2 左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本はずす。



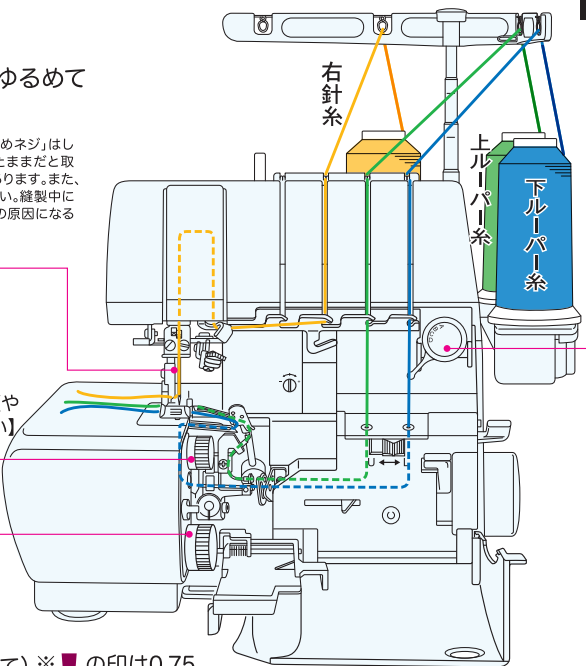
針を取りはずした後、必ず「止めネジ」はしめておいてください。ゆるめたままだと取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

3 かがり幅ダイヤルをMに合わせる。

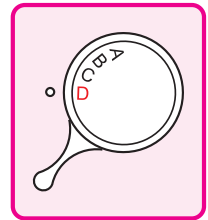
【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】

4 送り目ダイヤルを「巻きロック」側の数字0.75~4に合わせる。

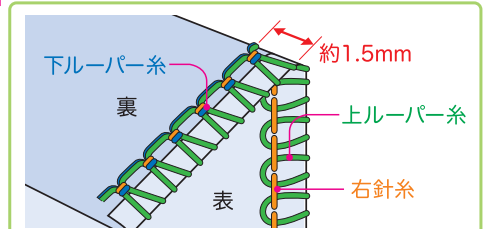
(生地の種類や好みによって) ※ **■** の印は0.75



1 縫い目切換ダイヤルをDに合わせる。



針	送り目(縫い目長さ)	かがり幅
右針	「巻きロック側」 0.75~1.5	M

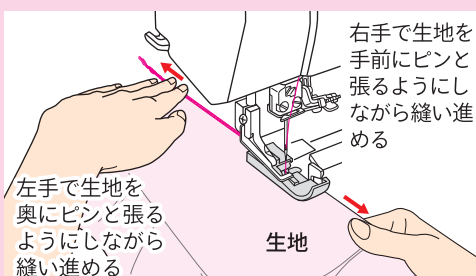


【変形巻きロック】

上ルーバー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。上ルーバー糸にウーリー糸を使用すると、細い縫い目が強調され印象的です。

ワンポイントアドバイス

巻きロックを綺麗に縫うには、縫う速度に合わせて、生地を両手で前後にピンと張りながら縫い進めると綺麗に仕上がります。



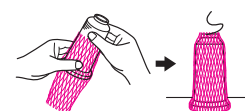
右手で生地を手前にピンと張るようにしながら縫い進める

左手で生地を奥にピンと張るようにしながら縫い進める

巻きロックをテトロン糸で行う場合の調整

針・上下ルーバーの3本ともに細番手のテトロン糸を使用した場合、糸が滑りやすいことに起因して、巻きロックの縫い目が乱れることがあります。そのような現象が発生した場合は、以下の調整をお試しください。

① 付属のペビネットを使用する。



② 糸調節微調整ツマミを「+」の方向にマイナスドライバーを使用してまわし、送り目を1mm以上に調整する。

